

NEW YEAR EXHIBITION 2015 Tenri in the Jomon Period
— Jomon Culture at the Furu Site Seen from the Excavated Artifacts —

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

2015年 新春展

縄文時代の天理

—出土品で見る布留遺跡の縄文文化—

2015年1月5日(月)～3月2日(月)

【会場】天理参考館 3階企画展示室



【開館時間】9:30～16:30 (入館は16:00まで)

【休館日】毎週火曜日 (ただし1月6日、27日は開館)

【入館料】大人 400円 団体 300円 (20名以上)
小・中学生 200円
(学校単位の団体は無料:事前申し込みが必要)

後援:奈良県天理市 / 奈良県教育委員会 / 天理市教育委員会 / 共同通信社 / NHK奈良放送局
協力:埋蔵文化財天理教調査団 / 天理大学ふるさと会

天理大学附属
天理参考館
携帯サイト
携帯電話のサイトから
情報をご覧いただけます



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>

(資料左上)硬玉大珠 布留地区出土 (資料右上)縄文土器深鉢 豊井地区出土 (資料下)縄文土器深鉢 布留地区出土 (背景)名張川

2015年
新春展

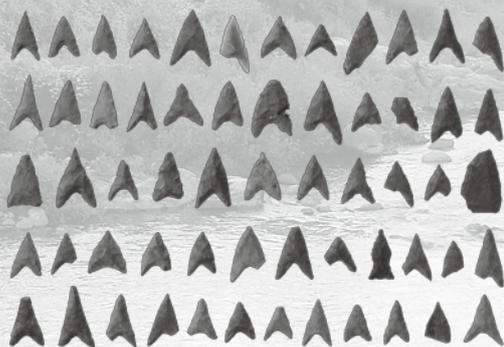
縄文時代の天理

—出土品で見る布留遺跡の縄文文化—

布留遺跡は奈良県天理市に所在する古墳時代に最も栄えた遺跡として著名です。しかし人々の営みは、それより9千年前の縄文時代早期からあったことが発掘調査で分かっています。縄文時代は1万2千年もの長きにわたる時代ですが、布留遺跡の人々はこの時代を自然とたたかいながら暮らしてきました。そして過酷な条件の中で生きるすべを見いだすために、様々な道具を考案し、作り、使ってきました。その証拠を遺物という形で現代に残していますが、まだ当時の全てを理解できるまでには至っていません。

今回の新春展では、長年に亘って行ってきた布留遺跡の発掘調査の成果から縄文時代を取り上げ、モノや生活の場を通して見えてくる人々の生き方と文化を考えてみたいと思います。展示品は当時の全てを語りませんが、当時を知る一助になると確信します。

布留遺跡の縄文文化を知ること、天理の歴史の一端を理解して頂ければ幸いです。



石鏃 豊井地区



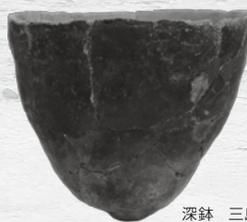
深鉢 布留地区



深鉢 豊井地区



トロトロ石器 豊井地区



深鉢 三島地区



石囲い炉 布留地区



集石遺構 豊井地区



貯蔵穴 三島地区

いずれも布留遺跡出土品

記念講演会《研修室》

「列島の狩猟採集民の知恵と技」

日時:2015年 1月24日(土)13:30~

講師:松田真一(当館特別顧問)

定員:100名(当日先着順)

ワークショップ《研修室》

「チャレンジ! 縄文土器を作ろう」

日時:2015年 2月14日(土)13:30~

協力:奈良芸術短期大学

定員:16名、参加料1000円、事前申込みが必要

小学校低学年以下は保護者同伴

トーク・サンコーカン(公開講演会)《研修室》

「布留遺跡縄文時代の調査

—ここまでわかった縄文時代の天理—

日時:2015年 2月28日(土)13:30~

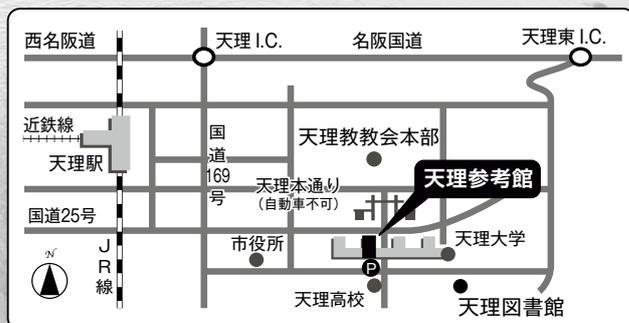
講師:太田三喜(当館学芸員)

定員:100名(当日先着順)

ギャラリートーク(展示解説)《企画展示室》

日時:2015年 1月26日(月)14:00~

2月26日(木)13:30~



アクセス: JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分

西名阪天理インターより南へ約3km(駐車場あり・無料)

次回の展覧会予告

天理大学創立90周年記念特別展

「ギリシア考古学の父 シュリーマン—初公開! ティリンス遺跡原画の全貌—」

2015年 4月15日(水)~ 6月8日(月)